園芸療法実践講座（第２回）　報告

１　開催日
令和８年 10 月 29 日（木）　13：00～16：00

２　講師
リハビリテーション西播磨病院　園芸療法士　　楠　美和

３　報告
第１回目と同様、前半を園芸療法にかかる講義、後半を演習の内容で講座を行いました。
講義のテーマを「高齢者施設での園芸療法の取組」と題し、講師が高齢者施設において、実際に提供した園芸療法プログラムの紹介、利用者への効果、加齢によってリスクが拡大する認知機能の低下や廃用症候群を有する高齢者へのアプローチなど、実践的な内容で講義を行いました。
演習では、高齢者でも取り入れやすい「寄せ植え」を行いました。受講者は、二人一組となって職員役・利用者役となって、「寄せ植え」を介したコミュニケーション方法を検討しながら取り組みました。
導入の言葉かけや作業を行う際のテーブル・椅子の高さなど、利用者の気持ちが理解できた講座となりました。

【受講者アンケート（一部抜粋）】
・ポジティブな言葉かけ「さしすせそ」（さすがですね・知らなかったです・すごいですね・センスいいですね・そうなんですね）を意識しようと思います。
・利用者が作業に躓いているときや理解できていないときなどに言葉をかけることが大事だと思います。（タイミングが重要）
・園芸は、人々を癒やすということがよくわかりました。取り入れたいと思います。
・園芸活動を提供する際、工程の事前理解が必要であると感じました。


講義「高齢者施設での園芸療法の取組」


演習「寄せ植え」


グループでの意見交換・発表


受講者の作品